

中学生向けビブリオバトルのワークショップ

1 活動の概要

山内図書館司書が中学校の図書委員会に招かれ、ビブリオバトルのワークショップを行った。ビブリオバトルの楽しさを体験してもらうと同時にビブリオバトルの目的でもある「本を通して人を知る」「人を通して本を知る」を体感してもらった。



2 活動の状況、実際

【対象】 中学校 1～3年の図書委員

【持ち物】 紹介したい本

【内容】

- ① 「ビブリオバトル」について司書が説明。
- ② 4名を1グループとし、数グループに分かれてワークショップ型で実施。一人1冊を3分で紹介、1分で質疑応答。
- ③ グループごとに、1番読みたくなった本に指差し投票し、チャンプ本を決める。
- ④ グループチャンプ本の紹介を全員の前で実施。学校により、全体のチャンプ本を決めるパターンと、発表・紹介のみでチャンプ本の選定はしないパターンで実施。

【考察】

ビブリオバトルを楽しんでいる様子が伝わってきた。他の生徒の発表をよく聞き質疑応答も活発だった。同じグループになった普段あまり交流のない生徒とも、本というツールを通じてコミュニケーションを取っていた。



知的書評合戦 ビブリオバトル

3 参加者、指導者等の声

【参加生徒の声】

- ・普段、話をしない人が、おもしろい本を紹介してくれて、その人に興味をもった。
- ・友だちが紹介した本が読みたくなった。
- ・みんな、たくさん本を読んでいてびっくりした。

やればハマる！ビブリオバトル
簡単！楽しく！ルール解説

BIBLIOMBATTLE
ビブリオ
バトル

